

いるまの生涯学習 《いるまなびと》 2022年度「まちの先生」年度報告

生涯学習で「元気な人間」の実現へ

生涯学習とは……

一人一人が、健康で豊かな生活を営むことや、仕事に役立つ知識や技術を身につけたり、生きがいのある充実した人生にするために、自分の意思に基づき、必要に応じて自分に適した手段や方法を選んで、生涯を通じて行う学習活動のこと

ビジョン: いるまなびとプラン

第5次生涯学習推進計画

「だれもが生涯にわたって、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことを暮らしや地域に活かすことのできるまち」を目指します。

キーワード: いるまなびと(地域の仲間と学ぶ市民)



入間市生涯学習をすすめる市民の会

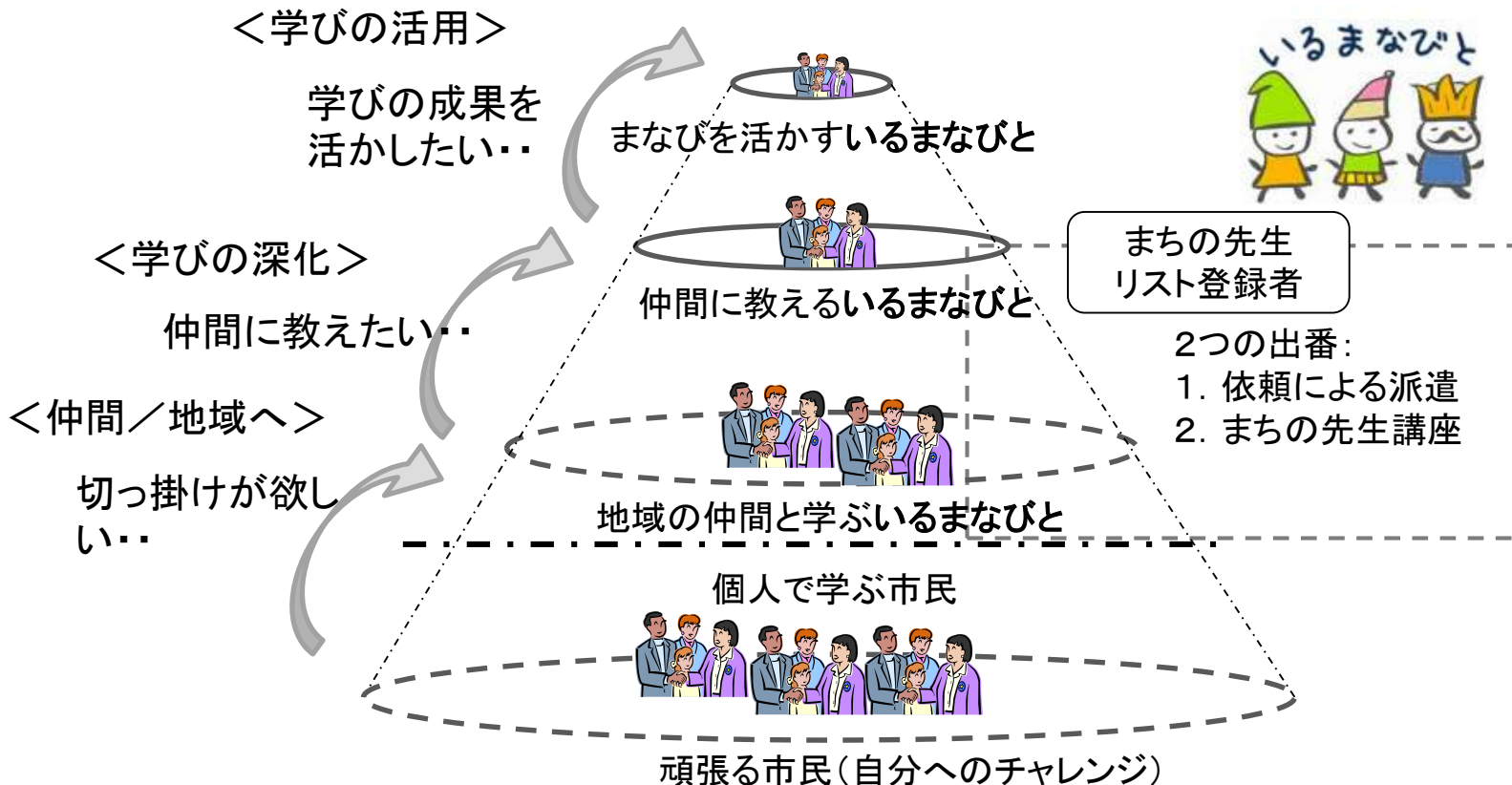
<https://irumanabito.net/>

2023年3月2日

まちの先生の位置づけ

仲間に教えることで、自らの学びを深める「いるまなびと」

いるまなびと: 地域の仲間と学ぶ市民



まちの先生の出番実績

1. 依頼による講師派遣

- リスト登録者: 55名<67テーマ>
- 学校、公民館などにリスト配布
- 今年度、6名の講師派遣



#	まちの先生	依頼元
1	高島元子 (アロマ&ハーブ)	小学校PTA
2	国本勝次 (紙ヒコーキ作り)	小学校PTA
3	川端理加 (リース作り)	小学校PTA
4	宿輪裕美 (異文化理解)	中学校PTA
5	藪塚理恵子 (寄せ植え、クリスマス飾り)	公民館
6	山増智子 (暑中見舞いつくり)	公民館

2. まちの先生講座

- 市民と行政の協働事業
 - 市民が企画・運営、行政が公共施設提供・事務局
 - 市民手作り(講師・受講生が共に講座準備/片付け)
- 11年連続で講座を開催



開講講座のテーマ・先生

— 企画案19の内、9講座を開講 —



講座テーマ	まちの先生
俳句「句会を開きましょう。」	清野 修
茶道の世界 シリーズ⑪ 初歩の裏千家茶道	久下宗光
こんな時どうする？—冠婚葬祭と進物の基礎知識	小林明人
詩吟をやってみよう	齋藤雪嶺
足もみ&セルフケアを一緒に学ぶ	高島元子
楽しく学ぼうExcel中級講座	弘中治雄
レベルアップを目指して、楽しく英会話！	宮下政博
未経験者OK！心と体をほぐすセルフケア&ヨガ	リエ
いるまの近代化、現代への証を訪ねて	岡野 亘、神立知早子

2022年度まちの先生講座 実施状況

項目	内容	前年度	備考
実施期間	2022/10/4～2023/2/21	10/7～2/1	平日午前午後(例外で土曜・日曜)
講座種別	9講座	27講座	企画案19の内、9講座実施 終了後、3講座でサークル化達成
実施コマ数	64コマ	67コマ	拡張型講座(8)、コラボ型*講座(1)
延べ受講人数	356名	493名	1受講生が複数コマ、複数講座参加を含む
受講生総数	50名	213名	講座登録者総数(欠席者も含む)
スタッフ総数	延べ5名	延べ8名	新講師や受講生多の場合、初回のみ
開催場所	イルミン、公民館、他※	ほぼ同様	※武蔵豊岡教会、ジョンソタウン

2022年度の特徴:

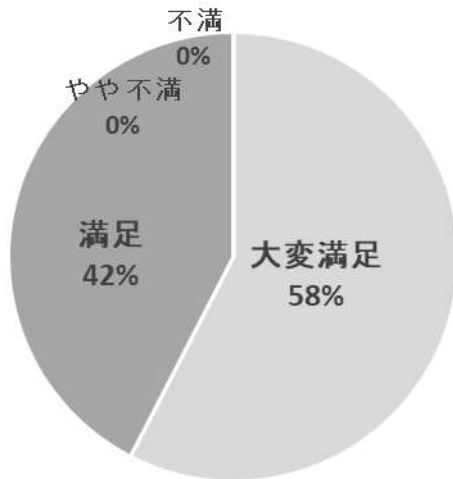
- 6回以上の拡張型/コラボ型*講座のみとした結果、講座企画数19、実施決定数9となり、講座実施数、参加受講生数共に減少。3講座でサークル化達成!

* :コラボ型:複数の講師が連携する講座



受講生アンケートの結果

講座の感想は？



2022年度：34名の受講者アンケート(対象50名)

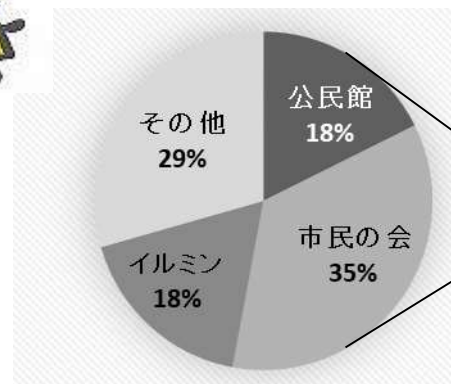
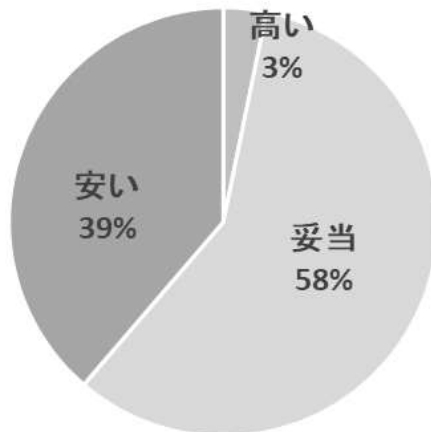
- 受講者の約100%が満足
- 受講費は約97%が妥当／安いと評価
- チラシ(53%)、広報いるま(44%)

凡例
HP: ホームページ

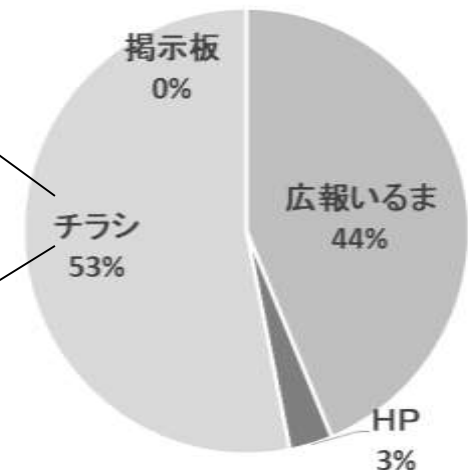
何で知りましたか？



受講費はいかがですか？



チラシの内訳



(アンケート)

受講生の声

- 入間の歴史を知ることができました。ジョンソンタウン・豊岡教会・石川製糸、子供にも伝えたい
- 初心者が興味を持って作句できるよう丁寧に教えていただきました
- 東日本、西日本とそれぞれの習慣もあり、わからないことばかり(色々贈り物、金額等)・・・でも、大変に勉強になりました
- 詩吟の声出しで元気をもらった
- 足のことを少し知ることができました。教えていただいたマッサージを続けていきたい
- 資格の講座もチャレンジしてみたい
- 各回ごとに課題の予習復習のテーマを頂いて家でもしっかり文章を作る練習ができました
- 専門的な内容も沢山学べました。初心者向けの教えもとてもわかりやすかった
- 健康のため、ストレス解消のため、とても満足しました

(アンケート)

まちの先生の声

- コマ数を倍に拡大しましたが、緩慢にならず皆さん、実に熱心に講座を聴いてくださいました。感謝です。保険料は市民の会から補填できないか
- 時間(3時間)も十分にとれて大変に良かったと思います。事務局から何かとアシスト、ご配慮をいただきました。2名の受講生が継続希望
- やはり1人でスクリーン、プロジェクター、PC、机の配置等を準備するのは最低30分かかりました
- 途中、病気になられた方もおり、全員が完走になりませんでした。上手になろうと積極的に参加していただきました
- 受講生のモチベーション維持が必要と感じた。一方通行にならないように4回目以降は会話しながらすすめることができた
- 公民館での準備時間を充分に取っていただき感謝。今回はスクリーン、ホワイトボード等が快適に使用でき有難かった。
- 参加者の皆さん大変勉強熱心で、教える側も手応えあり。英会話の全8コマは適切な回数だと思います
- 客の心得、亭主の準備、点茶はそれぞれ全員の素晴らしい協力がありました。また、講義と茶道の実践は別の日程が良いと思いました

これまで11年間の実績

- 11年間に246講座を開講して、延べ4,086名の市民が受講

特徴: 2019年急増(拡張型の5講座)、2020年減少(コロナ禍での外出自粛)

2021年は回復傾向、2022年は拡張型に限定して開講数、受講生数が減少

(1) 登録受講生数と延べ受講生数(名)

延べ受講生総数 4,086名

登録受講生総数 1,775名

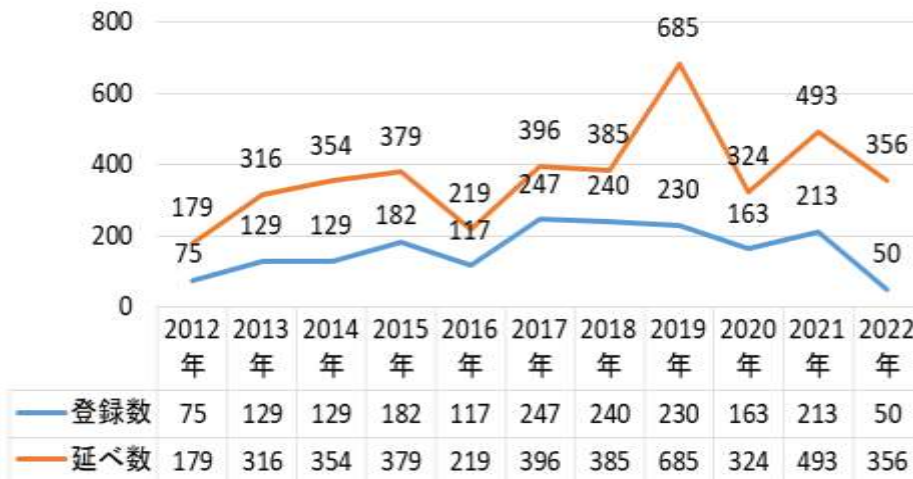


(2) 講座数と実施コマ数

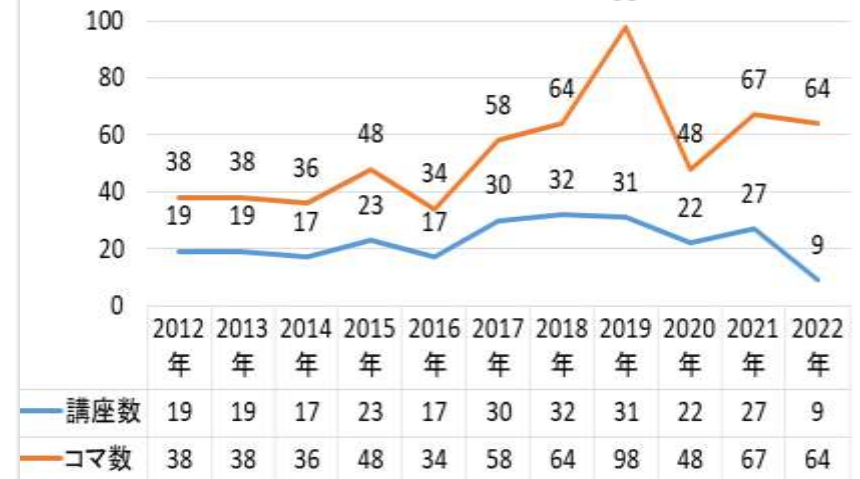
講座総数 246

実施コマ総数 593

登録受講生数と延べ受講生数(名)



講座数と実施コマ数



これまで11年間の実績(つづき)

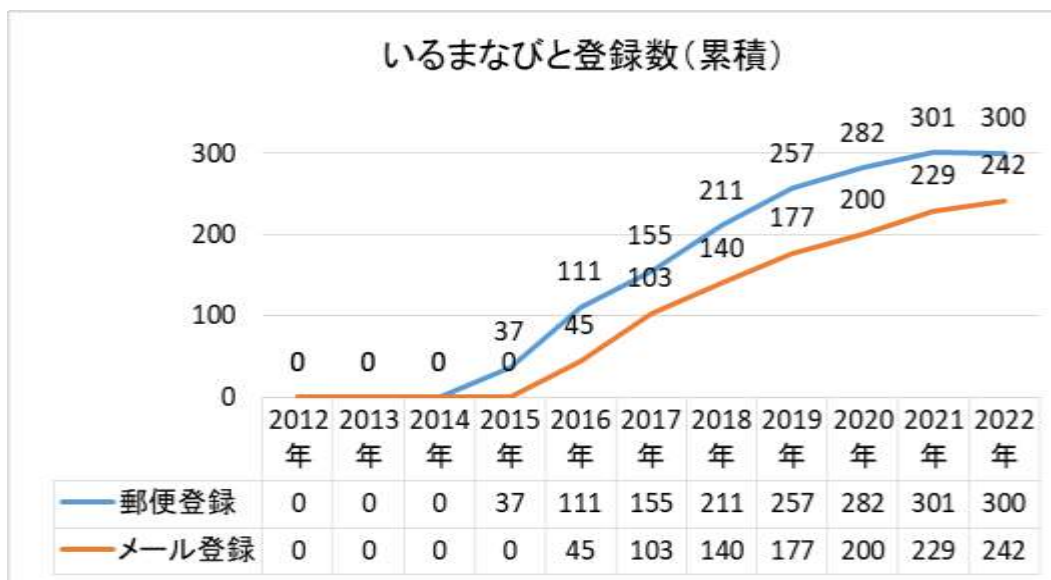
- 11年間で「いるまなびと登録」が増加して、リピータが増える

1) 郵便登録(講座案内を郵送) 2) メール登録(毎月メルマガ配信、講座案内)

(3) いるまなびと登録数 合計542名

郵便登録総数 300名

メール登録総数 242名



今年度総括

まちの先生講座

- 仲間づくり/スタッフ不足から拡張型/コラボ型講座を実施
結果、開講数減少(27⇒9講座、コマ数67⇒64)
 - スタッフ総数は変化少ない(8⇒5人)
 - 開講数の減少に比例し、受講生総数が減少(213⇒50人)
 - 受講生によるサークル化の事例(3例/9講座中)
 - 今年も「講座に満足」との受講生評価が多い

まちの先生の出番

- 公民館事業などでの堅調な需要あり
(学校PTA、公民館、放課後こども教室など)

次年度に向けて

実施方針

- 「手作りの講座」の考えに基づき、拡張・単発型の2種の講座を運営
- スタッフが少なくて済む運営方式
- まちの先生の協力を視野に軽量の講座運営を心掛ける
 - 先生がスタッフを兼ねる／助っ人を連れてくる〈自助〉
 - 先生相互が助け合う仕組みを検討／準備する〈共助〉

先生相互が助け合う仕組み

- 「まちの先生ガイダンス」の一環として他の講座を助ける
- まちの先生同士の交流を通して、互いに助け合い
 - 生涯学習推進とまちの先生などについて知る
 - まちの先生の“職員室”「オンライン談話室」